

令和5年度

事業報告書

社会福祉法人

猪名川町社会福祉協議会

# 目 次

I 総括 .....	1
II 諸活動報告 .....	2
1 地域福祉活動 .....	2
2 ボランティア活動 .....	4
3 生活支援サービス活動 .....	7
4 児童家庭福祉（エンゼル）活動 .....	7
5 障害者福祉活動 .....	8
6 高齢者福祉活動 .....	14
7 福祉学習（教育）啓発活動 .....	21
8 調査・情報活動 .....	25
9 組織基盤づくり活動 .....	26
10 団体・法人支援活動 .....	29
11 町指定管理事業 .....	29
12 諸会議 .....	31
III 役員の状況 .....	34
1 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会役員の状況 .....	34

## I 総括

人口減少社会・少子高齢化の進行などにより、地域での生活を存続させるための基盤が揺らぐとともに、社会的孤立や格差により地域生活課題も複雑多様化しています。また労働力不足についても、福祉分野の人材不足も深刻化してきており、福祉の仕事の魅力発信や処遇改善、ICTの活用など抜本的な対策が全国的にも求められている状況です。

地域福祉においては、新型コロナも第5類へ移行され、地域では様々な活動が再開される中、地域での支え合い活動において、住民とともに協議を重ね、まずはモデル地区で支え合い活動の拠点立上げを進めました。また昨年8月猪名川町社会福祉法人連絡協議会（ほっとかへんネット猪名川）を設立し、生活困窮者支援において新たな事業所や団体と連携しフードドライブ等支援を行いました。啓発や情報発信では、ボランティア情報など新たにSNSを活用し幅広い方々に情報が届くよう取り組みました。

地域包括支援センターや障害者相談支援センターなど相談支援事業については、複合的な課題のある世帯や認知症などの幅広いケースに対応しながら関係機関などと連携を図り、課題解決に向け相談支援を行いました。また昨年10月に立上げられた新たな事業所と連携し、これまでの実績を踏まえ、基幹的な役割も担いました。その他、生活困窮者支援や権利擁護にかかる相談についても、関係機関との連携を図りながら相談支援を行いました。

自主事業では、高齢者デイで職員の慢性的な人手不足から昨年10月にデイサービスの休所日を1日追加し、残りの営業日で極力支障の出ないように利用調整し、サービスを提供しました。また、人手不足解消のため資格取得制度の立ち上げや職員の賃金を上げるなど処遇を改善し人材確保に努めました。

また総合福祉センターは施設の老朽化に伴い、各所で不具合や故障が発生し、一部営業を休止せざるを得ない状況となりました。昨年、総合福祉センターの利活用に関するサウンディング調査で当社協も提案しましたが、この福祉施設のあり方については、地域福祉の実情や課題を踏まえ、今後必要な活動・事業を検討し、かつ自立的な経営が維持できるよう引続き協議を重ねていきます。

法人全体の資金収支では、令和5年度は収入総額437,276,817円（対前年度比1.5%増）、支出総額428,559,072円（対前年度比1.4%増）となり、収支差額8,717,745円（対前年度比4.7%増）の黒字となりました。

以下、ここに令和5年度における本協議会の諸活動についてご報告致します。

## II 諸活動報告

### 1 地域福祉活動

#### (1) 小地域福祉（福祉委員）活動

福祉委員制度は、各地域での福祉活動推進のために設置されており、福祉委員活動の支援や連携を取りながら、地域のつながりづくりや地域ニーズの把握に努めました。新型コロナウイルスが第5類感染症に移行したこともあり、地域活動も徐々に再開しています。

##### ア 福祉委員会全体会及び役員会の開催（全体会2回、役員会4回）

全体会として福祉委員の役割について等の説明を行い、役員会では、全体で実施する活動についての協議などを行いました。第2回全体会では若年性認知症当事者の実話に基づいた映画を鑑賞し、認知症についての学びを深める機会となりました。

##### イ 猪名川町 SOS ネットワークの協力

地域での見守り体制の構築に向けて、地域の関係団体等と協議を行いました。今年度は一部の地区のみで実施しました。

##### ウ 校区福祉委員活動として認知症サポーター養成講座を実施

認知症の方への理解を深めるために、養成講座や行方不明者捜索訓練を実施しました。今年度は一部の地区で実施となりました。

##### エ 民生委員・児童委員と連携し、地域の見守り等の実施

地区・校区での交流会等を計画し、顔の見える関係づくりに努めました。

##### オ 健康福祉まつりへの参加・活動PR

新型コロナウイルスの影響のため、中止が続いていましたが、4年ぶりに開催。地域での居場所づくりの手法についての紹介や、ボランティア活動等のPRを各種団体の協力を得て行いました。

##### カ 社協事業等への参加

社協会員会費や赤い羽根共同募金運動などにおいて、新型コロナウイルスの影響のため、中止が続いていた募金活動が再開し、積極的に活動を取り組みました。

## 校区・地区ごとの主な活動内容

地区（校区）	主な活動内容
内馬場・伏見台地区	防災訓練、演奏会、認知症講座、南京玉すだれ、地区福祉委員会定例会等
原・松尾台地区	ふれあいサロン、自治会・民生委員・児童委員・社協との交流会、福祉部会等
阿古谷地区	ふれあい交流会（スポーツ大会、秋祭り、甲英文化祭、グラウンドゴルフ、健康講座）等
猪名川小校区	「若葉いこいの家」の運営ボランティア、健康教室（体操・サロン）、むつみ会活動支援、サマーフェスティバル、秋祭り、オレンジcaféへの参画等
つつじが丘小校区	つつじが丘フェスタ、ふれあいサロン、いこいの会、うたごえ喫茶、写経、モルック、猪名川台カフェサンテ（お花見、腰掛け健康体操、歌声喫茶等）
白金小校区	ほっとサロン絆（月1回）、土曜サロン（隔月1回）、研修会（施設見学）、校区民生委員との交流会、広報誌発行等
楊津小校区	介護保険等勉強会、福祉落語会、校区定例会、民生委員・児童委員との連携・交流会、地区ごとの活動等
大島小校区	介護保険等勉強会、福祉落語会、各地区でのサロン活動や戸別訪問、民生委員・児童委員との連携・交流会等

### (2) ふれあい弁当サービス

ひとり暮らしの高齢者及び高齢者のみの夫婦世帯等を対象に、安否確認や食生活充実を目的として、毎週水曜日に昼食（利用料金は1食500円）を配食しました。

#### 月別配食実績表

（単位：食）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和5年度	135	135	138	127	130	132	133	150	95	124	124	101	1,524
1回あたりの平均配食数	34	34	35	32	33	33	33	30	32	31	31	34	33

※令和4年度実績1,689食、1回あたりの平均配食数35食

### (3) 日常生活自立支援事業

判断能力が十分でない方（認知症高齢者・知的障がい者など）が安心して暮らしていけるよう福祉サービスの利用援助や日常生活の金銭管理等、自立生活への支援を行いました。延べ相談援助件数は38件となりました。生活支援員による支援業務については、令和6年3月末時点で2件となりました。

### (4) 福祉相談マネジメント活動事業

生活困窮者に対して相談支援を実施しひきこもり支援に関する講演会を開催しました。

#### ア 生活福祉資金の相談・貸付

低所得者世帯等に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより、その経済的自立、生活意欲の助長促進、在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活が送れ

ることを目的として事業を実施しました。令和4年度で新型コロナの特例貸付が終了しましたが、本則の生活福祉資金では福祉資金・福祉費が1件、福祉資金・緊急小口資金が1件、教育支援資金が1件、計3件貸付に至りました。

#### イ 自立支援に向けて関係機関との連携

生活福祉資金貸付に至らないケースは自立支援相談機関の「神戸冬を支える会」をはじめ関係機関などと随時連携を図りました。また本年度もひきこもり支援を学ぶ機会として講演会・交流会を開催し、住民啓発および支援者同士がつながる場となりました。

開催日：3月8日（金）
場 所：日生公民館（大会議室）
内 容：①講演「つながりあって幸せに生きる ～不登校・ひきこもりの支援を通して～」
②交流会
講 師：NPO 法人コウノトリ豊岡・いのちのネットワーク ドーナツの会 事務局長 戸田和代氏／相談員 辻井明未氏
参加者：50名

#### ウ 心配ごと相談

毎月3回、民生委員・児童委員が輪番により町内3か所で実施しています。相談件数は2件でした。

#### (5) 生活困窮者支援体制強化事業（ほっとかへんネットワークカー配置事業）

令和5年度より、新型コロナ特例貸付の借受世帯や生活困窮状態が続く世帯が安心して暮らすことができるよう必要な支援と地域内のセーフティネットの充実を通じた社会的孤立、排除の解消、予防を図ることを目的として始まった事業です。特例貸付の借受世帯等への相談支援（生活相談、償還免除・猶予等の相談・手続き支援等）、実態把握のため12月にアンケート調査と食料支援を行い、アンケートは209件中67件回収（回答率32%）、55世帯に食料配布しました。食料は、コープこうべやモノタロウからの食料提供と、10～12月のフードドライブにて町内社会福祉法人や商工会女性部からご協力いただきました。

## 2 ボランティア活動

### (1) ボランティア活動センターの運営事業

ボランティア活動の場の提供やコーディネート、情報提供等を通じ、より多くの住民がボランティア活動を通して地域社会の関わる「きっかけづくり」活動を進め、福祉向上を目的に実施しました。

ア ボランティアに関する相談受付、コーディネート連絡調整

相談受付処理状況

(単位:件)

内容	ボランティア活動希望	ボランティアの依頼	人材に関する相談	資機材に関する相談	資金に関する相談	組織運営に関する相談	事業運営に関する相談	その他	令和5年度実績	令和4年度実績
一般住民	37	7	2	4	0	2	0	11	63	73
ボランティア・市民活動団体	32	11	11	8	9	1	0	64	136	144
福祉施設・病院	0	293	0	0	0	0	0	3	296	244
行政機関	3	21	1	12	0	0	0	14	51	74
社協	0	296	1	0	0	0	0	0	297	254
福祉団体	1	20	0	0	0	0	0	2	23	14
学校・教育機関	2	16	18	11	2	0	0	12	61	60
その他	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2
合計	75	664	33	35	11	3	0	108	929	865

ボランティア活動延べ人数 2,777名 (令和4年度実績 2,371名)

ボランティア活動内容

一般住民	ボランティア活動の希望
福祉施設・病院	茶出し・ドライヤーの手伝い、お話相手、囲碁将棋の相手、散髪、レクリエーションボランティア等
行政機関	音訳CD作成、託児等
社協	ふれあい弁当サービスの調理及び配食、声の広報CD作り、「おもちゃ図書館」手作りおもちゃ作り、福祉学習の手伝い、登録ボランティアグループの活動依頼等
福祉団体	聴覚障がい者・視覚障がい者に関する情報発信・当事者団体のサポートなど
学校・教育機関	視覚・聴覚障がいの学習、認知症サポーター養成講座、福祉講演会の講師の相談、福祉学習機材の貸し出し等

イ ボランティアに関する情報提供・啓発

(ア) ボランティアの啓発

社協だよりにおいて、登録ボランティアグループの紹介を毎回掲載するとともに、2か月に1回ボランティア通信の発行も始め多くの方々への紹介に努めました。また町内事業所の協力により各種ボランティア講座やボランティア募集の案内チラシを設置しボランティア活動の啓発に努めました。

(イ) 啓発用冊子等の配布

ボランティアに関心のある方、初めて活動をする方に、わかりやすい啓発リーフ

レット「笑顔いっぱいボランティア活動」や、ボランティア・福祉学習の詳細を記載した啓発冊子「レッツトライボランティア」を配布。主に学校での福祉学習体験時に配布し、啓発に努めました。

#### ウ 機材貸出

町内施設やボランティアグループなどへ、機材の貸出を行いました。

#### エ ボランティアグループ助成

住民の社会福祉活動への主体的な参加を促進し、ボランティア活動者の育成、及び活性化を図ることを目的にボランティアグループに対して活動経費の一部を助成しました。登録ボランティアグループ6団体からの申請に基づき助成金交付を行い、各グループが地域で活動されました。

#### オ 兵庫県ボランティア・市民活動共済

本年度の件数は122件、加入者数は1,197名でした。その内、「天災危険補償プラン」の取扱い件数は、15件、加入者数は448名となりました。

#### カ ボランティア活動センター運営委員会・ボランティアグループ連絡会

##### (ア) 猪名川町ボランティア活動センター運営委員会

ボランティア活動センターの円滑な運営を目的に、運営委員会を設け、年2回開催しました。

##### (イ) ボランティアグループ連絡会

ボランティア活動に関する連絡調整のため登録グループ参加のもと年2回実施しました。

#### キ 災害ボランティアセンター運営

ボランティアの役割・災害ボランティアセンターの運営について講師から講義を受けました。参加人数 計36名

#### ク ボランティア養成講座

下表のとおり各種ボランティア養成講座を開催しました。また、講座の様子を社協だよりに掲載するなど地域住民に興味を持って参加できるボランティア講座の企画に努め、ボランティア活動の担い手の育成に努めました。

	講座名	開催日(期間)	開催場所	参加者数(令和4年度実績)
1	災害ボランティア養成講座	6月18日・25日(日)	総合福祉(ゆうあい)センター	延べ49名(31名)
2	サマーボランティアスクール2023	7月21日(金)～8月31日(木)希望活動日	総合福祉(ゆうあい)センター・町内事業所	31名・延べ65名
3	猪名川町地域応援ボランティア養成講座	9月3日(日)・9日(土)計2回	総合福祉(ゆうあい)センター	延べ22名(40名)
4	手話奉仕員養成講習会(基礎編)	4月19日～10月11日毎週水曜日計24回	総合福祉(ゆうあい)センター	12名・延べ255名(16名・274名)
5	傾聴ボランティア養成講座	10月25日(水)・26日(木)	中央公民館	延べ54名
6	要約筆記啓発講座	11月23日(木)・12月2日(土)・7日(木)計3回	総合福祉(ゆうあい)センター	延べ43名(97名)
7	災害登録ボランティア交流会	10月28日(土)・1月28日(日)	プロロジスパークイオンモール猪名川店	延べ19名
8	ボランティア交流会	10月9日(月)	イオンモール猪名川店	20名(11名)

### 3 生活支援サービス活動

#### (1) 福祉用具貸出・相談活動事業

町内在住で福祉用具を必要とする方に、善意銀行に寄付があった福祉用具の貸出を実施しました。

本年度は、新型コロナによる影響も落ち着きがみられた為、外出目的で利用される方が多く、特に車いすの利用が増加しました。

貸出件数

(単位：件)

貸出用具	車いす	ポータブルトイレ	歩行器	その他(杖・入浴関連)	合計
令和5年度	94	11	7	17	129

### 4 児童家庭福祉(エンゼル)活動

#### (1) 福祉を育む仲間づくり活動・子ども相談・支援活動

##### ア ちびっこボランティア講座

例年、小学生を対象に、障がいのある方やボランティア等とのふれあいを通じて、子ども達が積極的に福祉やボランティアへ関心を持つ契機となることを目的に開催しました。

開催日：7月29日(土)

内容：ゆうあいカップ モルック大会

場所：総合福祉(ゆうあい)センター コミュニティードーム

参加者：17名

イ おもちゃ図書館（手作りおもちゃ制作・地域への貸出事業）

ボランティアが制作した手作りおもちゃを、地域の団体や子育て支援グループ・個人への貸出しを行いました。本年度貸出件数 26 件（本事業は、共同募金の地域配分金を活用しています）

5 障害者福祉活動

(1) 啓発活動・団体支援

ア イナワイ等の地域交流会啓発活動

障がいのある方との交流や地域における障害者福祉等の啓発を目的として、“製作”をテーマに活動しました。本年度はお箸や鍋敷きなどの木工作品を製作しました。また、活動を通じて地域交流や啓発活動に取り組みました。（本事業は、一部共同募金の地域配分金を活用しています）

開催日：2月18日（日）・3月17日（日）

場 所：国崎クリーンセンター

参加者：延べ15名参加

イ セルフヘルプグループの活動支援

セルフヘルプグループに対して諸活動の協力及び活動支援を実施しました。

- ・ 身体障害者福祉会
- ・ 身体障害者父母の会
- ・ 手をつなぐ育成会
- ・ こころ猪名川家族会

(2) ふれあい交流活動

ア ふれあい運動会

障がいのある方とその家族、ボランティアが共にスポーツ・レクリエーションを楽しみながら、仲間や生きがいつくり、「障がい」の壁を乗り越え、お互い理解を深め合い、社会参加の促進と生活の豊かさを広げることを目的として、地域の関係団体の方々と協働し4年ぶりに開催しました。

開催日：6月17日（土）10：00～13：00

場 所：猪名川町文化体育館（イナホール）

参加者：138名（平成30年度 参加者：150名）

イ ふれあいバスツアー

障がいのある方とその家族、ボランティア等の方々との交流や仲間づくりを目的に「ふれあいバスツアー」を実施しました。海遊館と天保山マーケットプレースに行き、参加者同士の交流や親睦を図りました。（本事業は、共同募金の地域配分金を活用しています）

開催日：10月14日（土）

場 所：海遊館・天保山マーケットプレース

参加者：32名

ウ 障がい児・者プール教室

障がい児・者がプールでのレクリエーションへの参加機会確保と促進、自立支援及び障がい児・者を地域で支えるきっかけづくりを目的として、障がい児・者を対象としたプール教室を開催しました。

開催日：7月21日（金）28日（金）・8月4日（金）・18日（金）・25日（金）  
 場 所：総合福祉（ゆうあい）センター  
 参加者：16名 延べ人数45名

(3) 障害者総合支援法事業

ア 多機能型事業所「希望の家すばる」運営

(ア) 就労継続支援B型事業

障がいのある方が自立した日常生活または社会生活を営むことを目的として、就労の機会、生産活動やその他の活動機会の提供を通じて、就労に必要な知識及び能力向上のための訓練を行いました。利用者数実績は、昨年度と比べ横ばいでしたが、工賃向上の取り組みとして、内職受託や地域イベントでの販売に力を入れた結果、月額平均工賃は前年度実績より増加しました。

利用者数実績

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和5年度	実利用者数	18	18	18	18	15	17	16	16	15	16	16	16	3,490
	延利用者数	324	313	322	286	271	306	294	270	271	268	274	291	

※ 令和4年度利用者数 合計3,473名

工賃支給状況

(単位：円)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
令和5年度	工賃支給額	153,000	245,600	256,600	206,400	246,400	196,100	262,000
	平均個人支給額	8,500	13,644	15,094	12,900	16,426	11,535	16,375
		11月	12月	1月	2月	3月	合計	
令和5年度	工賃支給額	207,800	271,600	159,600	187,600	276,218	2,668,918	
	平均個人支給額	12,987	18,106	9,975	11,035	16,248	13,568	

※ 令和4年度平均工賃支給額 11,420円

(イ) 生活介護事業

障がいのある方が自立した日常生活または社会生活を営むことを目的として、入浴、排せつ及び食事等の生活支援、創作活動やレクリエーション等の日中活動の支援を行いました。利用者の障がいの重度化、多様化が進行している中で個々の障がい特

性に合わせた必要な支援が行えるように定期的に内部研修や事例検討を行い支援プログラムの充実やサービスの質の向上に取り組みました。

利用者数実績

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和5年度	実利用者数	20	21	21	22	23	23	23	23	23	23	22	23	
	延利用者数	355	355	395	362	375	378	385	341	355	332	309	345	4,287

※令和4年度利用者数 合計 3,885名

イ 障害者ホームヘルプサービス事業（居宅介護・重度訪問介護）

日常生活を営むことに支障がある障がい者の自宅にヘルパーが訪問し、身体介護（身の回りの支援、食事、入浴、排泄等の介助・介護）、家事援助（調理、洗濯、掃除、買物等の必要な家事）、相談・助言・その他（生活・介護に関する相談）サービス支援を行いました。昨年度に比べ利用者、延べ利用者数も増加しています。

利用者数実績

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和5年度	実利用者数	11	13	11	12	12	13	12	13	13	11	12	11	
	延利用者数	72	85	75	94	84	89	88	89	80	77	78	93	1,004

※令和4年度延べ利用者数 合計 609名

ウ 地域活動支援センター事業

町内在住の障がい（精神疾患）のある方を対象に、地域の中で自分らしく暮らすことを目的として、創作活動プログラムや社会との交流促進プログラムを提供しました。本年度は、新たな取り組みの一つとして一般就労や就労系事業所へのステップアップを目的としたビジネスマナー講座を実施し次のステップアップへの支援を行いました。

利用者数実績

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和5年度	実利用者数	8	10	9	12	12	13	10	9	8	11	9	10	
	延利用者数	44	53	63	57	56	55	56	44	43	41	54	43	609

※令和4年度利用者数 合計 899名

(4) 地域生活支援事業

ア 障害者療育支援事業

運動面や情緒・知的面などの発達が遅れが心配される児童を対象として、基本的な生

活習慣の獲得や社会性の発達、運動機能の維持・向上などを目的とした事業です。障がいのある児童の健全育成の一助として、理学療法、作業療法、言語療法訓練について、専門機関から訓練士の派遣を受けて実施しました。本年度は感染症の流行で欠席も多くありながらも、複数の訓練の必要性の見られる児童が増えたため、延べ利用者数は増加しました。

利用者数実績

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和5年度	実利用者数	55	57	61	63	59	39	39	37	41	38	34	41	949
	延利用者数	72	81	90	73	68	78	94	81	70	81	81	80	

※令和4年度利用者数 合計 859名

イ 日中一時支援事業

障がいのある方に、一時的な日中活動の場を確保し、家族の就労支援や介護者の一時的な休息を目的に、必要な生活支援サービスを提供しました。

利用者数実績

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和5年度	実利用者数	4	6	5	5	5	6	4	7	5	6	6	8	402
	延利用者数	37	39	43	39	40	36	25	32	28	22	27	34	

※令和4年度利用者数 合計 299名

ウ 移動支援事業

障がいのある方が、充実した日常生活を営むことができるようガイドヘルパーが付き添い、社会参加に必要な外出時の介助、支援を行いました。

利用者数実績

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和5年度	実利用者数	6	5	6	3	4	4	6	5	4	5	5	6	93
	延利用者数	9	7	11	5	7	7	9	8	7	8	8	7	

※令和4年度利用者数 合計 99名

エ 音訳・点訳広報紙

文字による情報入手の困難な視覚障がいのある方に、音訳ボランティア「リヴィエール」、点訳ボランティア「てんてまり」の協力を得て、社協だよりや町広報などの音訳・

点訳への編集・発行を行いました。また、本事業のPRチラシを町福祉課の協力のもと障がい者手帳所持者へ発送するなど啓発にも努めました。音訳CDや点訳物は図書館や町福祉課等にも配布しています。本年度、利用者数4名。延べ利用回数156回となりました。(令和4年度の利用者数4名、延べ利用回数150回)

(5) 相談支援（就労支援）センターの運営事業

障がいのある方が自立した日常生活又は社会生活を営むことを目的に相談支援事業を実施しました。

ア 総合相談支援事業

障害者総合支援法の障害者地域生活支援事業における相談支援事業を町より受託し、相談支援（生活支援・就労支援）を実施しました。障がいのある方や、その家族が安心して地域で暮らせるように、様々な相談に応じて、必要な情報の提供や、障害福祉サービスを利用するための支援を行うほか、権利擁護の為に必要な支援を実施しました。本年度は、事業所内での定期的な研修や事例検討を行うとともに、専門性の高い困難なケースの対応について専門機関からコンサルテーションを受け、よりきめ細かい相談支援が実施できるよう取り組みました。また、本年度より新たに1か所設置された相談支援事業所と定期的に連絡会や勉強会を行い、地域の相談支援体制の強化にも取り組みました。

種別相談等延べ件数（基本相談）

(単位：件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和5年度	身体	6	3	10	8	4	1	4	1	2	7	7	9	62
	知的	12	11	9	6	5	13	7	4	3	10	14	16	110
	精神	43	54	57	40	30	27	27	35	32	32	12	22	411
	重症心身	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	3
	発達	10	8	2	4	6	2	1	3	2	5	3	3	49
	高次能	0	2	1	0	3	0	0	0	2	4	5	4	21
	その他	7	7	11	17	5	18	5	4	8	4	7	3	96
合計		78	85	91	76	53	61	44	47	49	63	48	57	752

※令和4年度実績 合計791件

### イ サービス等利用計画

障がいのある方（児）が抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けた計画の作成支援を行うとともに、その計画が利用者本人にとって適切かどうか新たな課題はないか定期的に評価を行いました。令和5年10月に新たに設置された相談支援事業所に一部既存ケースを引き継ぎましたが、障害福祉サービス利用のニーズの高まりにより昨年度と比較し件数、延べ人数ともに増加しています。

利用件数実績（延2,534件）

（単位：件）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和5年度	実利用件数	39	40	37	35	38	55	56	49	45	31	38	35	498

※令和4年度実績 実利用件数 419件 延2,320件

### ウ 就労支援業務（就職支援・職場定着支援）

就労に関する相談および支援を希望する障がいのある方、障がい者雇用に関する相談及び支援を希望する事業者を対象とし、相談者の個々のニーズに応じた支援・助言を行い、障がいのある方が就労する為の支援や就労が定着する為の支援を行いました。

本年度は就労移行支援や就労継続支援事業所等から11名が一般就労に移行することが出来ました。

### エ 自立支援協議会（専門部会の運営）

猪名川町障害者自立支援協議会の専門部会（生活・就労・教育）事務局として障がいのある方（児）が安心して暮らせる町づくりのための課題についての検討を行いました。また、啓発セミナーを開催し、住民へ障害福祉の啓発を実施しました。

### オ 障害支援区分認定調査

猪名川町から調査依頼を受け、サービスの利用を希望する障がいのある方や家族に対して、障害の程度や生活の状況などについて調査を行いました。本年度の実績は41件となりました。（令和4年度実績 27件）

## 6 高齢者福祉活動

### (1) 介護保険事業

#### ア 高齢者デイサービス事業

利用者の心身機能の維持や介護者の介護負担軽減などを目的として、入浴や食事等の支援を日帰り提供しています。介護予防を目的とした口腔・運動訓練などを行い、新たな利用者の支援につながるよう努めました。但し本年度は、10月より月曜日を営業休止としました。

#### 利用者数実績

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和5年度	実利用者数	77	81	82	82	76	79	79	81	82	79	78	80	7,618
	延利用者数	642	702	685	667	617	651	627	639	573	582	584	649	

※令和4年度実績 合計 7,546名

#### イ 訪問介護事業

要介護者等の在宅生活支援のためホームヘルパーが自宅へ訪問し、身体介護および生活援助を行いました。体調不良や在宅生活が困難となり利用が終了するケースも多くありましたが、町内居宅介護支援事業所と連絡調整し、可能な限り利用者の受け入れを行いました。

#### 利用者数実績

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和5年度	実利用者数	65	69	74	74	69	77	80	80	77	75	72	73	6,558
	延利用者数	511	575	582	544	521	570	601	603	534	493	508	516	

※令和4年度実績 合計 5,615名

### (2) 高齢者生活支援事業

#### ア 軽度生活援助事業

日常生活で手助けを必要とする高齢者、障がい者を対象に社会との繋がりを持ちながら安心した生活が送れるよう、外出時の援助、食事・食材確保などの軽度の援助サービスを提供しました。また、介護保険制度の支給限度額超過などで介護保険サービスが保険給付外となる方に対して、本事業を提案し、生活支援が必要な方に対し支援を実施しました。

## 利用者実績

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和5年度	実利用者数	9	9	10	10	10	13	14	15	12	10	11	11	370
	延利用者数	21	23	22	25	24	32	47	40	35	31	37	33	

※令和4年度実績 計 254人

## イ 生きがい活動支援事業

高齢者の生きがいづくり、仲間づくりの支援として町総合福祉（ゆうあい）センターで運動系・文化系等の教室を開催し、閉じこもり予防の推進に努めました。中期よりプール設備の故障の為、教室開催回数の減少や中止となり、教室数は減少しました。1教室の参加者数を増やすため、いなぼうネットでも参加を募りました。

教室開催回数 92 回、参加者数 150 名、延べ 1,007 名となりました。

(令和4年度 実施回数 103 回、参加者数 166 名、延べ 1,064 名)

## (3) 地域支援事業

## ア 地域包括支援センター事業

高齢者等が住み慣れた地域で安心して過ごすことができるように、包括的および継続的な支援を行う地域包括ケア推進を目的とし実施しました。地域包括ケアシステムを構築し、かつ有効に機能させるために、看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員等がその専門知識や技能を互いに活かしながら地域住民とともに地域のネットワーク構築に取り組みました。

## (ア) 総合相談（権利擁護含む）

サービス利用に関する初期相談や、虐待、成年後見制度の相談、複合的な課題を抱える相談などを介護サービス事業者や病院の医療相談員等多岐にわたる団体・機関から受け付けました。昨年度同様、新型コロナウイルスの影響で閉じこもり等により認知症の初期症状についての相談やコロナフレイルと思われる相談、同じく入退院時の家族の不安についての相談などが増加しました。必要に応じて関係機関や地域住民との連携を図りながら課題解決に向けた支援を行いました。令和5年10月より地域包括支援センターが2か所となり、相談件数も分散されています。

相談件数実績

(単位：件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和5年度	実件数	112	91	136	109	121	114	146	96	88	90	73	78	1,254
	延件数	201	157	221	180	204	189	205	146	153	161	114	125	2,056

※令和4年度実績 実件数 1,324 件、延べ 2,394 件

(イ) 介護予防ケアマネジメント

要支援1・2の方の介護予防及び日常生活支援を目的として、その心身の状況等に応じて対象者自らの選択に基づき、適切なサービスが実施されるよう援助（相談・ケアプラン作成・サービス調整等）を行いました。令和5年10月より地域包括支援センターが2か所となったため、プラン件数も分散し減少しています。

プラン作成件数実績

(単位：件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和5年度	地域包括	134	135	146	140	133	140	115	100	87	90	91	92	1,403
	居宅介護支援事業所へ委託	214	211	217	217	216	214	180	142	142	147	133	130	2,163
合計		348	346	363	357	349	354	295	242	229	237	224	222	3,566

※令和4年度実績 合計 4,154 件

(ウ) 介護支援専門員（ケアマネジャー）支援

支援困難ケースを抱える介護支援専門員からの相談に随時対応し、必要に応じて協働でケースに関わりました。また、介護支援専門員連絡会やサービス事業所連絡会のサポート役として、企画・運営に参加しました。

(エ) 成年後見相談

成年後見制度の啓発・相談機能の強化として、毎月第3金曜日10時から12時に個別相談を実施し、相談件数は9件となりました。また成年後見制度普及啓発講座を実施しました。

### 成年後見普及啓発講座

開催日：7月1日（土）
場 所：総合福祉（ゆうあい）センター
内 容：「私の終活～今のワタシに出来ること～」
講 師：司法書士 名倉充彦氏 ライフシフト・パートナー 川西由佳氏
参加者：30名

### イ 生活支援体制整備事業

「いつまでも安心して暮らし続けることができる地域づくり」の実現に向けて、公的機関や地域の多様な機関・団体と連携し、ネットワークづくりや住民同士の支えあいの活動支援を実施しました。新型コロナも第5類へ移行し、地域での居場所づくりを目的とした活動も、多くの地域で再開しました。

また本年度も、ボランティア活動センター、地域包括支援センターと協働で、地域応援ボランティア養成講座を行い、地域の担い手づくりに取り組みました。

前年度等にアンケート調査を実施した大島まち協と松尾台まち協の地区内で、支え合いの地域づくりを目的とした話し合いを行いました。

### ウ 認知症高齢者見守り事業

「やすらぎ支援員」（認知症の基礎知識・接遇研修受講者）が、認知症高齢者の自宅を訪問し、見守りや話し相手を通じて「なじみの関係」を作ること、その方の心身の安定を図り、すこやかな在宅生活が送れるように支援するとともに、認知症高齢者を介護する家族の介護負担軽減を図ることを目的としています。新型コロナで利用のない年が続きましたが、本年度は1名が利用されています。

	利用人数	延べ利用回数
令和5年度	1名	4回

### エ 認知症地域支援・ケア向上事業

#### (ア) 認知症サポーター養成講座

認知症への正しい理解、認知症の方やその家族を温かく見守る応援者（認知症サポーター）を増やし、認知症になっても安心して暮らせるまちを地域住民の手でつくることを目指す全国的な取り組みです。本年度は、認知症サポーター養成講座を12回開催し、353名の認知症サポーターを養成しました。

	開催回数	サポーター数
令和5年度	12回	353名

#### (イ) 家族介護教室

家族や地域住民等の援助者を対象に、介護方法、介護予防、健康づくり等の知識

及び技術の習得を目的に開催しました。本年度は、猪名川高校3年コミュニケーション類型クラスとの「図書館活用で地域の人と高校生の交流できる場作り」目的の講座を行いました。京都の認知症当事者・下坂厚氏をお招きし対談形式での講演会を開催しました。高校生のみではなく地域の方にも来ていただき当事者の話を聞く貴重な機会を持つことが出来ました。

開催日：6月26日（月）
場 所：兵庫県立猪名川高等学校2階図書室
内 容：「若年性認知症当事者講演会」
参加者：62名

(ウ) オレンジC a f e（認知症カフェ）開設

認知症の方とその家族、地域住民、専門職などが気軽に参加できる場所とし、介護相談のきっかけや地域とのつながり作りを目的に実施しました。

これまでの地域包括主催のオレンジC a f eに加え、新たに主催者と協働開催のオレンジC a f eを3か所開催しました。今年度は初めて「おやじの会」と題して男性介護者に声をかけ、就労支援B型事業所ソーシャルファームかがやきの「まきば」の場所を借りて開催することが出来ました。その他若年性認知症の当事者の居場所として「ゆう友サロン」も月2回で開催しました。

	オレンジC a f e (日生中央サ ピエ)	オレンジC a f e				合 計
		オアシス猪 名川	喫茶「ナイス デイ」	イオン猪名 川店	おやじの 会	
開催 回数	9	5	7	2	1	24
参加 者数	280	85	50	103	3	521

オ 地域介護予防活動支援事業

(ア) 脳の健康教室モデル及び自主教室運営支援

認知症予防・集いの場の確保・ボランティア活動の場の提供を目的として、「脳の健康教室」を実施しています。現在町内3か所で実施しており、自主グループへの支援として、教材管理、活動事務経費助成等の支援を行いました。次年度に新規教室「天河草子教室」開講のための受講者説明会を年度末に行いました。

(イ) 脳の健康教室サポーター養成講座

次年度の新規教室「天河草子教室」開講に合わせたサポーター養成講座を行いました。

(ウ) 健康長寿体操教室運営支援

健康寿命延伸のため身近な地域にて体操教室が展開されており、その支援を実施しました。また、4年ぶりにモデル事業も実施しました。3月には代表者の交流会を行い、情報交換を行いました。

健康長寿体操教室一覧

	教室名		教室名
1	若葉いきいき体操教室セカンド	11	北田原すみれ倶楽部体操教室
2	旭ヶ丘健康体操クラブ	12	あこやクラブ健康体操部会
3	いきいき体操松尾台教室	13	つつじが丘健やか体操
4	いきいき体操日生中央教室	14	猪名川荘苑健康長寿体操教室
5	伏見台チェアトレーニング教室	15	やないづ体操クラブ
6	パークタウン東体操教室	16	柏原健康体操
7	猪名川台ちょこっと体操	17	ふらっと体操教室
8	東山いきいき元気倶楽部	18	広根健康長寿体操教室
9	清水健康体操教室	19	西畑体操教室
10	若葉いきいき体操教室ファースト	20	杉生老人クラブ(モデル教室)

(エ) いきいき百歳体操教室

健康寿命延伸のために身近な場所で少人数から取り組めるよう、令和4年度よりいきいき百歳体操教室事業を開始しました。実施はまだ1教室ですが、広報啓発を行い体験会等の実施に努めました。

	教室名
1	あゆみ会

(オ) ふれあい・いきいきサロン開設・継続支援

地域の方が支え合い、いつまでもいきいきと安心して暮らせるよう、地域の住民が主体となり身近な場所で交流を深める居場所を立ち上げるための支援を行いました。新たに猪名川荘苑地区でサロンが開設され、高齢者をはじめ地域の住民の居場所となりました。また、今年度初めてサロン交流会を行い、サロン実施者同士がつながり、交流する良い機会となりました。

ふれあい・いきいきサロン開設状況

	サロン名	地域名
1	ほっとサロン	猪名川荘苑
2	わ（話・和・輪・環・把・羽）の会	広根ニューハイツ
3	若葉生き生きサロン「スマイル」	若葉
4	にこにこサロン	旭ヶ丘
5	サロン島村	島
6	伏見台自治会サロン「いっぷく亭」	伏見台
7	えんがわ CAFE	松尾台
8	白金いきいきサロン	白金
9	猪名川台あそぼう会	猪名川台
10	すこやかサロン	つつじが丘
11	清水ふれあいサロン	清水
12	伏見台いこいの広場	伏見台
13	杉生いきいきサロン（休止中）	杉生
14	ハートフルサロン（休止中）	仁頂寺・川向
15	西畑サロン	西畑
16	地域の茶の間 岡田っ家	伏見台
17	サロンよりみち	伏見台
18	おしゃべり茶屋	猪名川荘苑

カ 認知症初期集中支援促進事業

支援チーム員と行政において、6回会議を開催しました。新規5件、終了5件、モニタリング中6件となりました。啓発活動として町広報に掲載しました。

最終引継ぎ先	件数（件）
ケアマネジャーと介護保険制度の利用	3
医療機関入院	2

キ 介護予防普及啓発事業

食を通じた介護予防と健康寿命延伸の啓発活動に取り組んでいます。「すこやか食生活講座」と題してPR活動を行い、老人会や地域のサロン等において、講話や食事を

実施しました。また今年度より、一体化事業の一環として栄養に関する講座を実施しました。

健康づくり講演会（令和4年度は計1回、30名）

開催日：3月7日（木）
場 所：日生公民館
内 容：フレイル対策に関する講演会
参加者：26名

すこやか食生活講座

日付	団体名	地区	内容	参加人数
11月18日	伏見台サロン いっぷく亭	伏見台	講座&食事会	30
11月27日	みどり会（松尾台老人会）	松尾台	講座&食事会	15

個別等での相談活動や食事指導（令和4年度は157件、357名）

指導・相談形態	件数（件）	対象人数（名）
家庭訪問指導	29	29
個別相談	3	3
集団指導（うち出前講座）	11（10）	187（178）
デイサービスにおける食事形態個別対応	148	148
合計	191	367

#### (4) 地域ふれあい事業

##### ア ふれあいの場運営事業

町の補助・支援を得る中、地域の高齢者が孤立することなく、安心して暮らし、世代を超えた地域の交流の場づくりを進める上で、地域住民のつながりの再構築の一助となることを目的として、「ふれあいの場」運営補助事業を実施し、本年度は、若葉自治会より申請があり、運営助成を行いました。

利用実績

	開所日数（日）	延べ利用数（名）	子供利用（名）	高齢者利用（名）	その他（名）
令和5年度	213	1,388	286	887	215

##### イ 高齢者スポーツ助成事業・文化活動助成事業

町内の高齢者のふれあいと健康促進を目的として、町老人クラブ連合会主催の「グラウンドゴルフ大会」（10月13日（金）開催、参加者184名）と文化活動「演芸発表会」（2月24日（土）開催、参加者約166名）の運営補助を行いました。

（本事業は、共同募金の地域配分金を活用しています）

## 7 福祉学習（教育）啓発活動

### (1) 福祉教育活動事業

ア 福祉教育協力校の指定（町内小学校6校・中学校2校の指定）

地域住民の福祉活動への理解と関心を深めるため、幼少期から高齢期に至るまで生涯を通じて幅広く福祉教育・学習の機会を提供し、体験・交流活動などを推進することを目的とし、助成金を交付しました。

各学校規模に応じ福祉講演会・校区内の高齢者との交流・高齢者疑似体験や車いす体験などの福祉体験を積極的に取り組まれました。(本事業は、共同募金の地域配分金を活用しています)

#### イ 福祉教材の貸出

福祉教育の推奨を目的に、福祉学習に使用できる物品の貸出を行いました。福祉学習では、高齢者疑似体験や車いす体験・視覚障がい者疑似体験学習時に使用する物品・点字学習時の点字版などの貸出を行いました。

#### ウ 学校・地域等での福祉講演会・体験学習の講師紹介等

「聴覚障がいの学習」については手話サークルマジック、「視覚障がいの学習」については点訳ボランティアてんてまりの協力を得て実施しました。2学期に集中し福祉学習の依頼があり、認知症サポーター養成講座や高齢者疑似体験・車いす体験学習の協力を行いました。学年ごとに体験学習を取り入れたり福祉講演会を実施されたりと様々な福祉学習を取り組んでもらえました。

福祉体験学習・講演会等の開催

学校名	開催回数	内 容	延べ参加人数
猪名川小学校	6回	点字学習、福祉講演会、高齢者疑似体験、車いす体験、聴覚障がいについての話と手話体験、認知症キッズサポーター養成講座	280
楊津小学校	4回	聴覚障がいについての話と手話体験、点字学習・認知症キッズサポーター養成講座・福祉講演会	109
大島小学校	6回	車いす・アイマスク体験、福祉講演会、点字学習、聴覚障がいについての話と手話体験、認知症キッズサポーター養成講座	123
松尾台小学校	5回	車いす体験、聴覚障がいについての話と手話体験、点字学習、認知症キッズサポーター養成講座、福祉講演会	218
白金小学校	6回	点字学習、車いす・アイマスク体験、高齢者疑似体験、認知症キッズサポーター養成講座、中途失聴・難聴についてのお話と要約筆記、聴覚障がいについての話と手話体験	426
つつじが丘小学校	5回	車いす・アイマスク体験、福祉講演会、聴覚障がいについての話と手話体験、認知症キッズサポーター養成講座・高齢者疑似体験	311
清陵中学校	1回	福祉講演会	266
猪名川高校	4回	認知症サポーター養成講座、車いす・高齢者疑似体験、ボランティア講座	100
※（ ）人数は、活動したボランティアの人数			1,833名（196名）

※令和4年度 1,680名（ボランティア活動者 180名）

エ 出前講座の実施

地域や学校と“顔の見える関係づくり”を構築し、それぞれのニーズに応じた福祉学習を支援し、福祉に関する関心を高めることを目的に、出前講座を実施しました。新型コロナウイルスの影響で縮小していた地域活動が回復してきており、依頼が18件となりました。

出前講座開催実績

	開催日	テーマ	参加者数	主催団体/開催場所
1	5月30日(火)	MC Iについて	37	脳トレサロン /日生公民館
2	6月5日(月)	フレイル予防 + 血圧測定	18	白金プラチナクラブ /白金自治会館
3	7月8日(土)	福祉用具について	10	伏見台自治会福祉部(福祉委員) /伏見台自治会館
4	7月8日(土)	つつじが丘地区 自治会長・民生委員・福祉委員 交流会	25	民児協つつじが丘地区委員会・福祉委員会 /アザレアホール
5	7月17日(月)	楊津・大島小校区 民生委員・福祉委員・一般住民 交流会	26	民児協六瀬地区委員会・楊津・大島各福祉委員会 /ふらっと六瀬
6	8月1日(火)	ゆうあい見学ツアー	10	民児協つつじが丘地区委員会 /ゆうあいセンター
7	8月5日(土)	松尾台地区民生委員・福祉委員 交流会	20	民児協中谷地区委員会(松尾台民生委員)・松尾台福祉委員 /松尾台自治会館
8	9月5日(火)	高齢者研修「見守り活動について」	55	民児協定例会/ 社会福祉会館
9	10月3日(火)	高齢期の疾患	16	サロンよりみち /伏見台自治会館
10	10月26日(木)	脳トレ	8	松尾台自治会福祉部(福祉委員) /松尾台自治会館
11	11月13日(月)	健康の秘訣は健やかな腸から	40	脳トレサロン/ 日生公民館
12	11月14日(火)	ヒートショックを予防しよう	10	おにぎり会/ サウンズビル
13	11月16日(木)	地域包括支援センターの支援の実際	59	つながりノート連絡会/ 日生公民館
14	12月16日(土)	認知症予防	24	伏見台自治会福祉部(福祉委員) /伏見台自治会館
15	1月10日(水)	高齢者施設について	10	民児協猪名川地区委員会 /社会福祉会館
16	1月15日(月)	健康長寿のための食事の秘訣	16	阪神7市1町シルバー人材センター協会/ 社会福祉会館
17	2月17日(土)	脳トレ	5	松尾台自治会福祉部(福祉委員) /松尾台自治会館

	開催日	テーマ	参加者数	主催団体/開催場所
18	3月13日(水)	脳トレ(もんじろう)	43	若葉むつみ会/レックスパーク
合計			延べ432名/15団体/全18回 (令和4年度 延べ151名/8団体/全8回)	

#### オ 福祉学習を考える集いの開催

学校や地域での福祉学習では、自ら学び考える「生きる力」を育むことを目的に様々な形で実践され、基本的な考え方や、学校や地域で身近にできる福祉学習の取り組み方を学び、猪名川町の福祉学習がより充実したものとなることを目的に実施しました。

	内容	開催場所	参加人数
8月4日(金)	課題を抱えた子どもと農業/地域学習	総合福祉(ゆうあい)センター	11名

#### カ トライやるウィークへの協力

5月猪名川中学校2名 9月清陵中学校2名の受け入れを行いました。様々な地域福祉事業を体験してもらいました。

## 8 調査・情報活動

### (1) 啓発・情報活動事業

社協の役割や活動を周知し、福祉活動への参加を促進するため、地域住民やボランティアと一体となった福祉啓発イベントの運営や社協だより、ホームページ掲載内容の充実にも努めました。また、新たにInstagramでの配信も始め、タイムリーな情報提供等、福祉情報について広報活動に取り組みました。

#### ア 社協だよりの発行

機関紙である「社協だより」を5月、7月、10月、1月の年4回(1回12,000部)発行し、全世帯に配布しました。掲載内容の充実と、読みやすい紙面への工夫を行いました。(本事業は、共同募金の地域配分金を活用しています)

#### イ ホームページの充実

より良いホームページ作成を目指し、福祉情報の発信や社協活動のPRに努め、特に社協開催の講座の周知を図り、受講者の増加に努めました。

#### ウ 町広報との連携

講座等の案内は、町広報とも連携し、毎月数件の情報を「広報いながわ」へ掲載しています。また、「いなぼうネット」での案内も実施しました。

#### エ 社協リーフレット・パンフレット作成

各事業等にて講座等のチラシを作成するとともに、社協会費のリーフレットを作成し、社協事業等の案内を行いました。作成したチラシ等は、ホームページに掲載すると

ともに、「ふれあい伝言板」(役場、図書館、ふらっと六瀬、日生連絡所に設置)にて福祉情報の発信や社協活動のPRに努めました。

#### オ 健康福祉まつりでの啓発活動

「だれもが健康で、安心して暮らせる地域社会」をめざして、住民相互の理解と交流を深め、地域福祉の担い手である住民の方々に地域や社会に参加してもらうきっかけづくりになることを目的として、「健康福祉まつり」に4年ぶりに開催され参加しました。ボランティア団体をはじめ各種団体の協力により啓発の機会としました。

### 9 組織基盤づくり活動

#### (1) 組織・基盤づくり活動事業

社会福祉法等の関係法令を遵守し、地域から信頼され、事業運営の透明性を確保し、より適正で効率的な法人運営に取り組みました。また新たな取り組みとして社協職員として「求められる職員像」の体系化を図りました。

#### ア 定款・諸規程等の整備・改廃

本年度における理事会及び評議員会の開催、諸規程等の制定及び一部改正議案については、本報告書「12 諸会議」を参照。

#### イ 地域福祉推進計画の策定と評価

令和2年度～6年度までの5ヶ年に亘る第7次猪名川町地域福祉推進計画について4年目の各事業の評価、現状と課題(評価)及び翌年度の目標について評価委員会にて審議しました。

#### ウ 猪名川町社協職員災害時行動の手引きに基づく研修・訓練

職員の入退職ごとに災害時連絡網の更新を実施し、年2回、緊急連絡伝達訓練を実施しました。

#### エ 役員・職員研修の充実

職員研修として救急救命講習、ハラスメント防止研修、災害ボランティアセンター研修に加え、今年度は業務効率化等を目的に業務改善研修を実施しました。また令和4年度から検討をおこなっていた階層別の「求められる職員像」について職階ごとに求められる役割や能力についての整理を行い、職員に周知しました。その他、職員の資格取得助成制度の活用が一件ありました。

#### (2) 自主財源促進活動事業

#### ア 社協会員の増強

地域福祉の充実と社協基盤の確立を図るための財源となり、各自治会を通じ啓発を行い会員の加入促進に努めました。また、賛助・団体会員の募集も行いご協力をいただきました。

会員会費の実績

(単位：円)

会員の種類	会費額	令和5年度		令和4年度	
		金額	摘要	金額	摘要
一般会員	500	2,232,137	48自治会	2,264,270	45自治会
賛助会員	5,000	303,000	44事業所	233,000	41事業所
団体会員	5,000	10,000	2団体	10,000	2団体
合計		2,545,137		2,507,270	

(3) 共同募金運動への協力事業

ア 赤い羽根共同募金活動

兵庫県共同募金会猪名川町共同募金委員会として募金活動を実施しました。本年度は、住民の方に地域福祉活動を知っていただくため、きっかけづくりを重視した活動を町全体の取組みとし、町内自治会、学校、法人等の多くの方々の協力を得ることができました。街頭募金活動も再開し4カ所で実施しさらに、「いながわまつり」において赤い羽根共同募金として出展し、バザー募金を実施しました。

また、1月から3月を期間拡大募金と位置付け、募金箱の設置での募金啓発活動を実施しました。

募金実績（期間拡大募金実績含む）

	目標額（円）	実績額（円）	達成率
令和5年度	1,915,000	1,753,030	91.54%

※令和4年度募金額実績 1,700,118円

募金内訳別実績額（期間拡大募金実績含む）

(単位：円)

募金方法	金額	募金方法	金額
戸別募金	1,116,616	学校募金	82,989
街頭募金	47,042	イベント募金	70,733
法人募金	150,000	その他（募金箱）	21,184
職域募金	264,466	-	-
合計		1,753,030	

イ 歳末たすけあい運動の実施

新たな年を迎える時期に、支援を必要とする方々が地域で安心して暮らすことができる一助として、「つながる ささえあう みんなの地域づくり」のスローガンのもと12月1日から12月31日の間、運動を実施しました。

募金活動においても、街頭募金活動を再開し実施しました。本年度は、いながわ子供の家入所者へのお年玉として配分のほか、児童扶養手当受給者世帯の小中学校入学支

度金、町内幼稚園・保育園へクリスマスプレゼントとして配分しました。

募金実績

(単位：円)

NO	区 分	金額	備 考
1	戸別募金	643,459	
2	街頭募金	17,036	
3	募金箱	11,462	
合計		671,957	

令和4年度募金実績 667,576円

配分内訳

(単位：円・件)

NO	配分先	配分金額	配分基準額	件数	備考
1	生活困窮世帯	140,000	20,000	7	
2	児童養護施設	193,000	10,000	5	お年玉として小・中・高 校生へ配分
			8,000	11	
			5,000	11	
3	児童扶養手当受給者	120,000	20,000	6	小・中入学準備金
4	町内幼稚園・保育園	180,000	30,000	6	クリスマスプレゼント
合計		633,000		46	

(4) 善意銀行の運営事業

住民や団体等から福祉向上のため預託される金品・物品等貴重な浄財を、必要な人々や団体の福祉活動に役立てるよう運用を行いました。

ア 運営委員会による適正な運営

運営委員会を開催し、善意銀行の適正な運用について協議・報告を行いました。本年度も、いながわ子供の家を退所する児童に対して進学・就労の支度準備金として、運営委員会において承認を得て払出を行いました。

## イ 金銭・物品の預託と払出

種類	預託内容	金額等	備考	払出内容	金額等	備考
金銭	一般	432,111円	8件	一般	219,400円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・摂丹地区里親会</li> <li>・ひょうご子ども家庭福祉財団</li> <li>・災害見舞金2件</li> <li>・日常生活自立支援事業利用料一部助成12件</li> <li>・ふれあい・いきいきサロン継続支援助成1件</li> <li>・地域居場所づくり応援助成2件</li> <li>・児童養護施設</li> </ul>
	合計	432,111円		合計	219,400円	
物品	その他	17件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玄米</li> <li>・衣類</li> <li>・オムツ類</li> <li>・日用品</li> <li>・テレビ・DVDプレイヤー</li> </ul>	福祉用品・その他	14件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内福祉施設などへ払出し</li> </ul>
	合計	17件		合計	14件	

### ウ 地域の居場所づくり応援支援助成

地域で誰もが自由に集える居場所、サロンを運営する団体に対して善意銀行から運営助成を行うもので、申請のあった猪名川台あそぼう会・旭ヶ丘に対して助成金（1団体につき20,000円）の交付を実施しました。

## 1.0 団体・法人支援活動

### (1) 福祉団体の支援事業

福祉関係団体の自主的活動に向けて、事務局として各当事者団体の活性化と活動の充実に向け団体活動の継続的支援に取り組ましました。

- ・ 民生委員児童委員協議会
- ・ 老人クラブ連合会
- ・ 遺族会
- ・ 身体障害者福祉会
- ・ 身体障害者父母の会
- ・ 手をつなぐ育成会
- ・ こころ猪名川家族会

### (2) 猪名川町社会福祉法人連絡協議会（ほっとかへんネット猪名川）への参画

兵庫県社会福祉協議会では、兵庫県社会福祉法人経営者協議会と協働し、社会福祉法人の地域公益活動を全県的に推進するため、「社会福祉法人連絡協議会」の設立支援を推進しており、猪名川町でも令和4年度途中からの準備委員会を経て、本年度8月3日に町内6法人で「猪名川町社会福祉法人連絡協議会（通称：ほっとかへんネット猪名川）」を設立しました。社協は事務局を担い、準備委員会、設立総会・式典、実務者会議の事務を行い、令和6年度からの本格的な取組みに向けて他法人と協議を行いました。

## 1.1 町指定管理事業

### (1) 猪名川町総合福祉センターの管理・運営事業

総合福祉センターでは、高齢者等の生きがい・健康活動の場として、広く利用の促進を図りました。また、町から総合福祉センターの指定管理者の指定を受け、同センターの施設利用や維持管理の業務を行いました。本年度は屋内プール設備故障のため利用休止となりましたが、それ以外では休止することなく利用できたことにより昨年度利用実績を上回ることができました。

ア 利用状況一覧表

(単位：件・人)

		一般浴室	室内プール	教養 娯楽室	研修室	ドーム
令和 5 年度	件数	37,431	2,036	621	227	1,867
	人数	37,431	2,036	4,228	2,643	7,721

イ 施設修繕一覧表

(単位：円)

実施時期	修繕工事内容	金額
4月	福祉センター食堂冷水機撤去作業費	34,100
5月	福祉センター事務所 LAN 配線工事	121,000
	福祉センター事務所 LAN 配線モール施行工事	30,800
6月	福祉センター事務所電話設備更新工事	2,596,000
	福祉センター事務所留守番電話装置増設工事	77,000
7月	福祉センター機械室熱交換器制御用電動弁取替工事	572,000
	福祉センター一般浴室ドア改修工事	27,974
	福祉センター屋内プールトイレ洗面改修工事	7,667
8月	福祉センター清掃室内洗濯排水緊急対応作業	16,500
	コミュニティドーム内コンセント取替工事	7,150
9月	福祉センター一般浴室ファンコイルユニット部品取替工事	71,500
	福祉センター2階デイ浴室前照明取替工事	39,038
10月	福祉センター事務所ネットワーク機器修繕工事	9,800
11月	福祉センター屋内プール更衣室スライドドア改修工事	7,260
12月	コミュニティドーム女子トイレ扉改修工事	15,400
	福祉センター一般浴室スライドドア改修工事	7,260
1月	障害者福祉センター生活介護居室窓ガラス取替工事	225,500
	福祉センター高圧ケーブル更新工事検査	77,000
合計		3,942,949

## 1.2 諸会議

次頁表のとおり、法人運営に係る諸会議について報告します。

### (1) 理事会開催状況

(理事定数 9 名以内)

年月日	会議名	場 所	内 容	
R5. 6. 2	理事会 (1 回)	総合福祉センター	議案第 1 号 議案第 2 号 議案第 3 号 議案第 4 号 議案第 5 号 採 決 状 況	令和 4 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会事業報告について 令和 4 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会収入支出決算について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会理事・監事候補者について ゆうあいデイサービスセンター指定通所介護事業運営規定等の一部改正について 令和 5 年度第 1 回評議員会の招集日時、場所、議題等について 第 1 号～第 5 号すべて議決
R5. 6. 20	理事会 (2 回)	総合福祉センター	議案第 6 号 議案第 7 号 議案第 8 号 採 決 状 況	会長の選任について 副会長の選任について 常務理事の選任について 第 6 号～第 8 号すべて議決
R5. 9. 27	理事会 (3 回)	総合福祉センター	議案第 9 号 議案第 10 号 議案第 11 号 採 決 状 況	社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会評議員の推薦候補者について 猪名川町地域包括センター(指定介護予防支援・介護予防ケアマネジメント事業)運営規定の一部改正について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会事業に係る申請手続等の押印の見直しに伴う関係規定等の整理に関する規定の制定について 第 9 号～第 11 号すべて議決
R5. 11. 22	理事会 (4 回)	総合福祉センター	協 議 事 項	猪名川町総合福祉センターの利活用に関するサウンディング型市場調査について
R5. 12. 19	理事会	理事会開催の決議の省略(一般社団法人及び一般社団法人に関する法律第 96 条)	議案第 12 号 採 決 状 況	社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について 第 12 号書面議決
R6. 1. 26	理事会 (5 回)	総合福祉センター	議案第 13 号 議案第 14 号 議案第 15 号 議案第 16 号 議案第 17 号	令和 5 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会補正予算(第 1 号)について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会経理規定の一部改正について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会嘱託職員の雇用に関する要綱の一部改正について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会臨時職員の雇用に関する要綱の一部改正について 令和 5 年度第 2 回評議員会の招集日

年月日	会議名	場 所	内 容	
			採 決 状 況	時、場所、議題等について 第13号～第17号すべて議決
R6.3.19	理事会 (6回)	総合福祉センター	議案第18号	令和5年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会補正予算(第2号)について
			議案第19号	令和6年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会事業計画について
			議案第20号	令和6年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会収入支出予算について
			議案第21号	社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会役員等賠償責任保険契約について
			議案第22号	令和5年度第3回評議員会の招集日時、場所、議題について
			採 決 状 況	第18号～第22号すべて議決
R6.3.27	理事会 (7回)	総合福祉センター	議案第23号	社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会理事の候補者について
			採 決 状 況	第23号議決
R6.3.27	理事会 (8回)	総合福祉センター	議案第24号	社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会常務理事の選任について
			採 決 状 況	第24号議決

(2) 監事会開催状況

(監事定数2名以内)

年月日	会議名	場 所	内 容	
R5.5.26	監査	総合福祉センター	令和4年度事業報告・収入支出決算監査 監事2名出席	

## (3) 評議員会開催状況

(評議員定数 17 名以内)

年月日	会議名	場 所	内 容	
R5. 6. 20	評議員会 (1 回)	総合福祉センター	議案第 1 号 議案第 2 号 議案第 3 号 採決状況	令和 4 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会事業報告について 令和 4 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会収入支出決算について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会理事・監事の選任について 第 1 号～第 3 号すべて議決
R6. 2. 9	評議員会 (2 回)	総合福祉センター	議案第 4 号 採決状況	令和 5 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会補正予算 (第 1 号) について 第 4 号議決
R6. 3. 27	評議員会 (3 回)	総合福祉センター	議案第 5 号 議案第 6 号 議案第 7 号 議案第 8 号 採決状況	令和 5 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会事補正予算 (第 2 号) について 令和 6 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会事業計画について 令和 6 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会収入支出予算について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会理事の選任について 第 5 号～第 8 号すべて議決

## (4) 評議員選任・解任委員会

(委員定数 5 名)

年月日	会議名	場 所	内 容	
R5. 10. 31	委員会 (1 回)	総合福祉センター	議案第 1 号 採決状況	社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会評議員推薦候補者の選任について 第 1 号議決

### Ⅲ 役員 の 状 況

#### 1 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会役員の状況 (令和6年3月31日現在)

##### (1) 理事 (定員7名以上9名以内)

(任期 令和5年6月20日～令和6年度に関する定時評議員会の終結時まで)

※順不同

会長	村山 興治
副会長	北上 倫聖
理事	守谷 教彦
〃	坂田 哲啓
〃	安藤 邦美
〃	堀口 初恵
〃	紺家 儀二
〃	大西 崇
常務理事	中元 進

##### (2) 監事 (定員2名以内)

(任期 令和5年6月23日～令和6年度に関する定時評議員会の終結時まで)

※順不同

監事	家門 正幸
監事	鮫島 秀一

##### (3) 評議員 (定員14名以上17名以内)

(任期 令和3年6月23日から選任後4年以内の終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結時まで)

※順不同

評議員	北山 義和	評議員	堀 寿美子
〃	安武 雅子	〃	太田 はるよ
〃	森中 清宏	〃	谷口 稔
〃	関根 純子	〃	山田 陽一
〃	大上 富士	〃	和泉 輝夫
〃	高岡 美津子	〃	伊藤 茂子
〃	安達 隆	〃	板橋 汎子
〃	今泉 友幸	〃	木高 壽子
〃	石井 誠		



